

飛翔

みどりときめきたしかな未来 菊川市



令和7年度
施政方針における
主要な取り組み

菊 川 市
KIKUGAWA

人口減少への転換・急激な進行

■日本の人口は、今後45年で3割減少

2020年人口 1億2,615万人

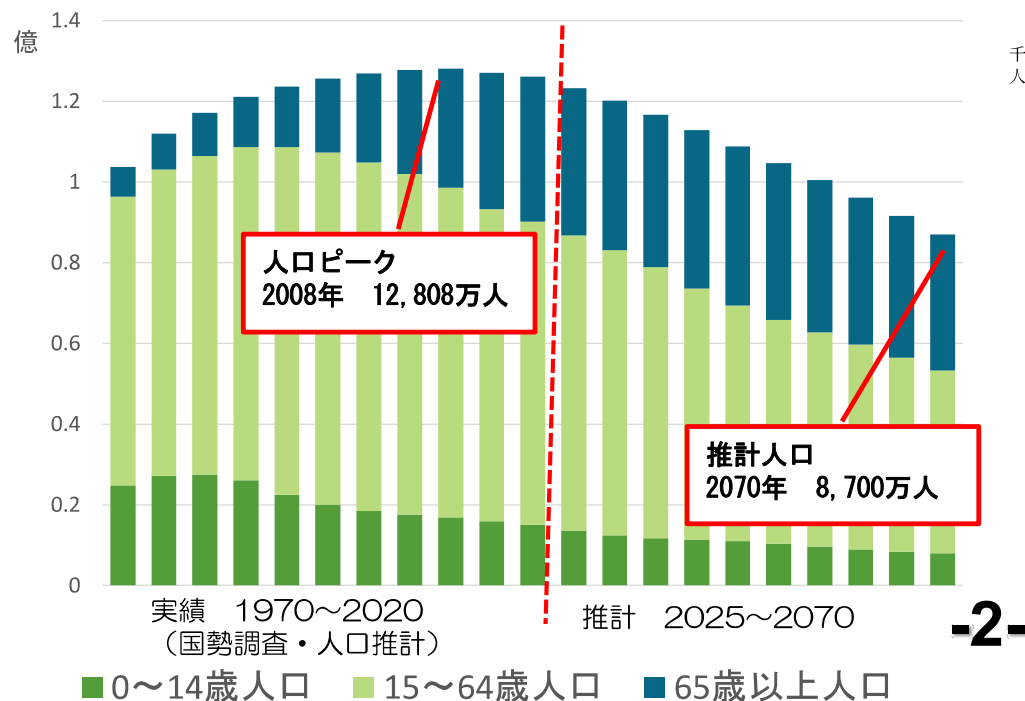
⇒2070年推計人口 8,700万人

参照:国立社会保障・人口問題研究所 将来推計(中位推計)

■2024年の全国の出生数は

初めて70万人を下回る見込み※

※ 厚生労働省人口動態統計R6,11月速報値から同様の傾向で推移した場合



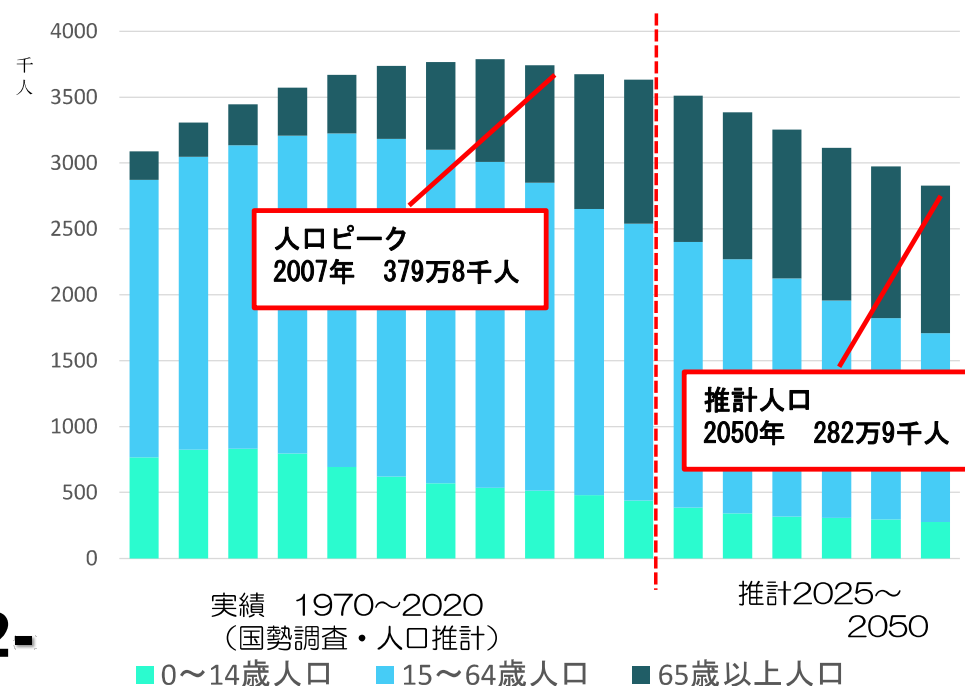
■静岡県の人口は、2007年12月の379万8千人をピークに減少

⇒2025年1月1日の静岡県の人口

351万7千人

(約17年で28万減少)

参照:静岡県「静岡県の推計人口」



人口減少対策「緩和」と「適応」

人口減少を抑える

緩和策

人口減少の
急激な進行を
可能な限り抑える

移住・定住の促進

出生率の向上

全ての人が生き生き活躍

適応策

人口が減っても
持続可能な
まちづくり

健康寿命の延伸

多様な人材の活躍

「人生100年時代」

高齢者から若者まで誰もが幸せを実感できる住みたい住みつづけたいまちへ

2060年推計人口が、10年前から約7,000人改善！

菊川市の2060年推計人口（国立社会保障・人口問題研究所）

2013年公表版 31,280人

2018年公表版 36,676人 （減少幅約5,000人改善 )

2023年公表版 38,037人 （減少幅約2,000人改善 )

「お達者年齢」 静岡県内35市町中 男性トップ！

令和5年度まで公表されていた「お達者度」と併せて、男性は3年連続で **1位**。
女性は15位（昨年23位）で順位を大幅に上げました。

「人生100年時代」に向けて

食事 ・ 運動 ・ 社会参加 をキーワードに

健康寿命 の延伸を進めます。

令和7年度 まちづくりの方針

基本方針

1

安全安心

「安全で安心して
暮らし続けられるまち」

基本方針

4

笑顔

「笑顔を育む希望と
安心があふれるまち」

基本方針

2

持続可能（未来）

「持続可能な産業モデルで
未来を創るまち」

基本方針

5

夢

「可能性を引き出す
夢あふれるまち」

基本方針

3

生き生き（元気）

「誰もが健康で
生き生き元気に輝けるまち」

基本方針

6

共感

「新たな発想と共感により
実効性を高めるまち」

令和7年度 施政方針

◆市政運営の基本的な考え方と取組

6つの基本方針を踏まえ、52の推進事業を掲載しています。

【基本方針1:安全安心】

『安全で安心して暮らし続けられるまち』

- ＜1＞ 市民の生命と財産を守る防災機能強化
- ＜2＞ 災害に備えた体制の充実
- ＜3＞ 道路環境の整備と公共交通ネットワークの強化

【基本方針4:笑顔】

『笑顔を育む希望と安心があふれるまち』

- ＜1＞ 結婚・出産の希望を叶える体制の整備
- ＜2＞ 切れ目のない子育て支援の充実
- ＜3＞ 未来にむけた子どもの学びの充実

【基本方針2:持続可能(未来)】

『持続可能な産業モデルで未来を創るまち』

- ＜1＞ 新たな農業モデルの確立
- ＜2＞ 茶業のグローバル化にむけた生産・販売体制の強化
- ＜3＞ 市内事業者の経営強化とスタートアップ支援
- ＜4＞ 脱炭素社会の実現にむけた環境対策の推進

【基本方針5:夢】

『可能性を引き出す夢あふれるまち』

- ＜1＞ 菊川駅南北自由通路整備と駅北地域の魅力創出
- ＜2＞ 多様な主体による協働の推進
- ＜3＞ 交流人口・定住人口の拡大

【基本方針3:生き生き(元気)】

『誰もが健康で生き生き元気に輝けるまち』

- ＜1＞ 健康づくり事業と介護予防事業の推進
- ＜2＞ 地域医療提供体制の確保
- ＜3＞ 支えあい、助けあいによる地域支援体制の実現

【基本方針6:共感】

『新たな発想と共感により
実効性を高めるまち』

【基本方針1:安全安心】 安全で安心して暮らし続けられるまち

<1>市民の生命と財産を守る 防災機能強化

◆ 市役所敷地一帯防災対策強靱化事業 Point

《531,360千円》

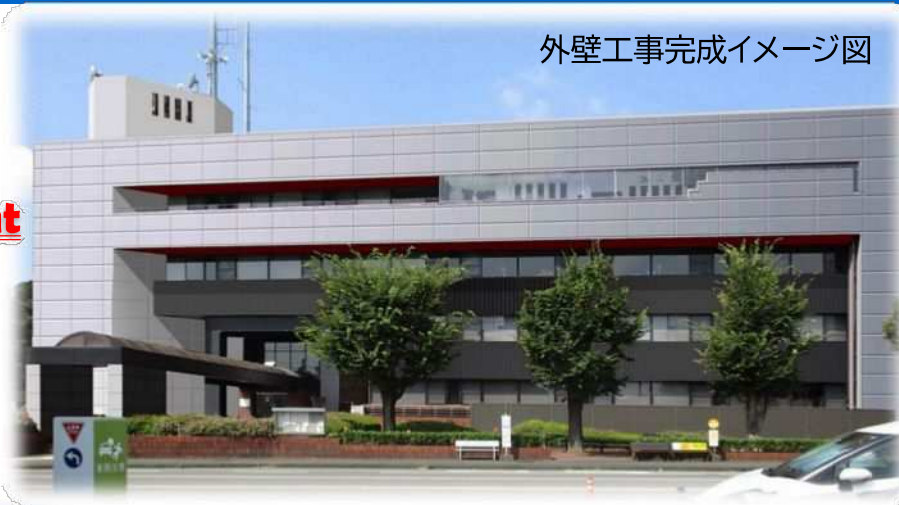
堀之内体育館整備事業費 Point

《333,992千円》

災害発生時に災害対策本部の機能が確実に発揮できるよう、市役所本庁舎から独立した災害対策本部棟の新築工事、堀之内体育館の建替えに着手します。



災害対策本部棟及び堀之内体育館完成イメージ図



外壁工事完成イメージ図

市役所本庁舎外壁改修工事については、引き続き剥落の危険性がある外壁タイルの撤去と金属パネル設置工事、防水工事を実施します。

災害対策本部棟新築及び 堀之内体育館建替え工事 概要

【工事期間】

令和7年12月～令和9年度（3か年）

【総工費（見込）】

15億5千万円 ※解体費、設計費等は除く

（内訳：災害対策本部棟 7億9,970万円

堀之内体育館 7億5,030万円）

堀之内体育館



菊川市役所本庁

災害対策本部棟



災害対策本部棟及び堀之内体育館完成イメージ図

【基本方針1:安全安心】 安全で安心して暮らし続けられるまち

<1>市民の生命と財産を守る 防災機能強化

◆ 菊川流域治水対策事業 **Point** 《353,180千円》

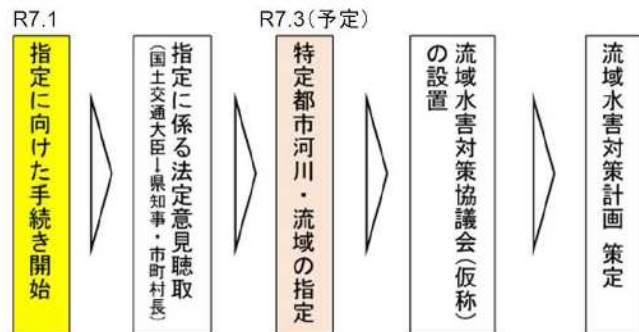
浸水被害の軽減を図るため、棚草川下流左岸部での
雨水貯留施設の整備に先立ち、用地の取得を進めます。

■ 「特定都市河川」黒沢川の指定

「特定都市河川」の指定を受ける見込みの黒沢川流域において、関係機関と連携し流域水害対策計画の策定を進めます。



今後の予定



H26.10出水

棚草川隣接地へ貯留施設整備



【基本方針1:安全安心】 安全で安心して暮らし続けられるまち

<2> 災害に備えた体制の充実

◆ 防災訓練事業費 ≪685千円≫

受援体制の強化に向け、防災訓練において災害時における協定先と連携した物資輸送拠点開設・運営訓練を実施し、スピード感をもった受援体制の強化につなげます。

新



◆ 女性の防災啓発事業費 ≪217千円≫

市役所女性職員による防災ガールズが、女性の防災参画意識の向上に取り組み、防災ワークショップに女性目線のテーマ内容を取り入れ、防災への興味、防災組織への参画を進めることで、災害時における女性目線の取組や配慮につなげます。

【基本方針1:安全安心】 安全で安心して暮らし続けられるまち

<3> 道路環境の整備と公共交通ネットワークの強化

◆ 社会資本整備総合交付金事業

青葉通り嶺田線 ≪105,582千円≫

岳洋中学校の通学路となっている小松洗橋の架け替えを含む整備を進め、自転車・歩行者の安全確保につなげていきます。

小笠地域市街地を東西に結ぶ幹線道路



小松洗橋

◆ 社会資本整備総合交付金事業

市道大須賀金谷線 ≪107,672千円≫

◆ 社会資本整備総合交付金事業

市道井矯堂線 ≪81,059千円≫

幹線道路で幅員が狭い未改良区間のある市道の道路改良工事を進め、市内外の物流や地域間の交流の円滑化、緊急時の対応、市民の皆さまの生活環境の向上を図ります。

◆ 掛川浜岡線バイパス整備 (都市計画推進費)

≪26,351千円≫

西方地区の早期事業化にむけて、将来交通量推計により交通特性や事業効果を分析し、県、掛川市とともに整備方針を検討します。



市道大須賀金谷線

<3> 道路環境の整備と 公共交通ネットワークの強化

◆ コミュニティバス推進費 《42,920千円》

公共ライドシェアの一つのコミュニティバスと、デマンド運行「コミタクくん」が、わかりやすく利用しやすい身近な交通手段となるよう努めます。



◆ 公共交通推進費 《4,001千円》

菊川市地域公共交通計画を策定し、公共交通を維持継続することで、暮らしの質を保ち、地域を支える交通ネットワークの実現を進めます。



【基本方針2:持続可能(未来)】 持続可能な産業モデルで未来を創るまち

<1> 新たな農業モデルの確立

◆ 耕作放棄農地有効活用業務委託料 (農業活動推進費) ≪770千円≫

優良農地を確保・保全するため、荒廃農地の解消にむけて、新たな作物への転換に取り組んでいます。
令和7年度は、レモンへの転換にむけた実証を進めていきます。



荒廃茶園解消前

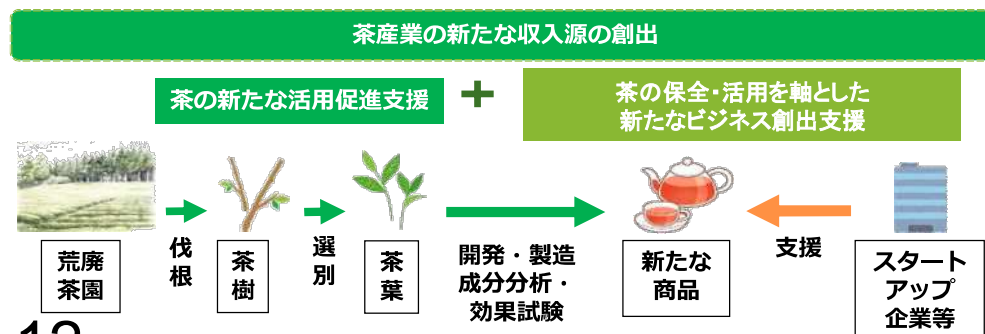


荒廃茶園解消後



◆ 耕作放棄茶園有効活用事業委託料 (茶業振興費) ≪7,800千円≫

荒廃茶園における新たな収入源の創出に向け、荒廃茶園の茶葉を使った商品の製造開発にむけた実証実験を行います。



【基本方針2:持続可能(未来)】 持続可能な産業モデルで未来を創るまち

<1> 新たな農業モデルの確立

◆ 農業DXに関する検証業務委託 (農業経営基盤強化推進費)

《990千円》

民間事業者の持つデジタル技術やノウハウ、各地とのネットワークを活かし、「農業DX」を推進していきます。令和7年度は、販売と物流が一体となったやさいバスの仕組みを活用した、コスト削減や販路拡大による農業経営の向上に取り組めます。

直面する課題に対し、新たな発想とデジタル技術を取り入れた取組を進めることにより、儲かる新たな農業モデルを確立していきます。



【基本方針2:持続可能(未来)】 持続可能な産業モデルで未来を創るまち

<2> 茶業のグローバル化にむけた 生産・販売体制の強化

◆ 菊川茶海外輸出安心安全対策事業費補助金 (茶園管理推進事業費) ≪1,300千円≫

新

海外販路拡充にむけて、安心・安全な茶生産が重要となるため、GAP認証取得荒茶工場を対象に、GAP等認証更新時の審査認定料などの一部を補助します。

◆ GI深蒸し菊川茶認知度向上支援事業費補助金 (茶生産経営体育成推進事業費) ≪1,400千円≫

新

他産地との差別化や海外販路拡充を図るため、GI制度を活用した販売やPRにかかるチラシ作成などの経費を補助します。

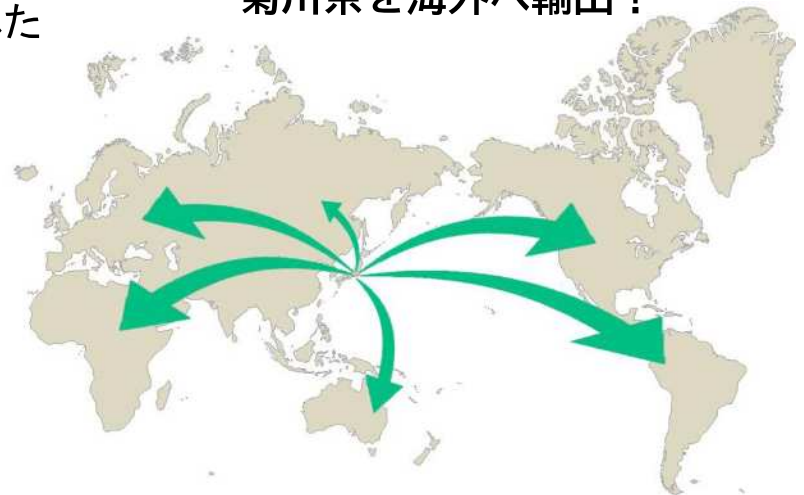
◆ 有機認証取得支援事業費補助金 (茶園管理推進事業費) ≪200千円≫

新

海外でも需要の高い有機栽培による高付加価値茶の生産拡大を図るため、新規有機認証取得に係る経費の一部を補助します。



菊川茶を海外へ輸出！



【基本方針2:持続可能(未来)】 持続可能な産業モデルで未来を創るまち

<2> 茶業のグローバル化にむけた 生産・販売体制の強化

- ◆ 海外輸出専用Webサイト使用料
・海外輸出支援事業費補助金
(茶生産経営体育成推進事業費)
《2,695千円》

佐川急便株式会社様と締結した「菊川茶海外輸出戦略」に関する連携協定に基づき、アリババ株式会社様が運営するECサイトの本格運用を開始し、海外バイヤーからの問い合わせ等に対応しています。



令和7年度は、サイト内の菊川市専用ページのカスタマイズを行い、海外バイヤーに菊川茶のイメージが、より伝わるよう改善を加えます。
さらには、サイトのデータやバイヤーとの取引内容を分析し、商品需要の把握や国・地域のターゲティングを行っていきます。

【基本方針2: 持続可能(未来)】 持続可能な産業モデルで未来を創るまち

<3> 市内事業者の経営強化と スタートアップ支援

◆ ふるさと納税事業費

《99,233千円》

市内事業者の商品を市内外に情報発信し、ふるさと納税の返礼品として登録することで販路拡大を支援します。

菊川の魅力がギュッと詰まった返礼品！



ふるさと納税紹介サイトのデザインを一新！



【基本方針2:持続可能(未来)】 持続可能な産業モデルで未来を創るまち

<3> 市内事業者の経営強化と スタートアップ支援

◆ 創業・事業承継等支援事業費 Point 《14,793千円》

産業支援センターEnGAWAを核として、農商工全般の相談への対応、コワーキングスペースの利用者等のビジネスマッチングを促進します。

スタートアップを積極的に受け入れるため、県の拠点「SHIP」との連携や、ビジネスプランコンテストを実施します。

令和6年度最優秀賞を受賞したOmiisay株式会社様とは、菊川茶の新たな海外販路拡大を進めており、スイス国内に新たに設立される現地日本茶販売店でテスト販売を開始します。



そのほかに提案いただいたビジネスプランについても伴走支援を進めていきます。



◆ 企業立地推進事業費 《335千円》

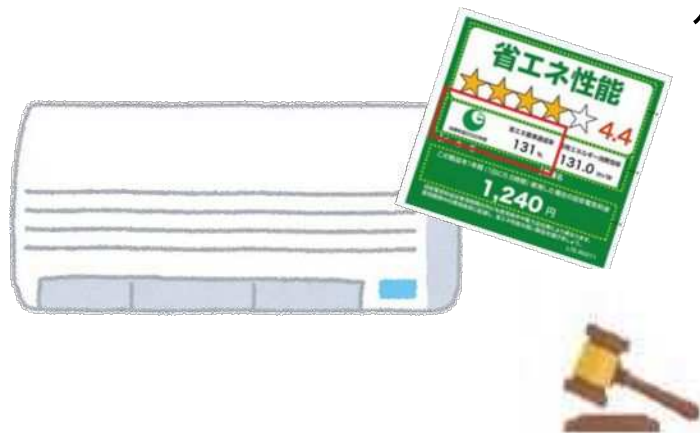
工業用地の確保に向けた開発候補地の調査や積極的な遊休地情報の収集を行い、菊川市の立地の強みを活かした誘致活動に取り組んでいきます。

【基本方針2:持続可能(未来)】 持続可能な産業モデルで未来を創るまち

<4> 脱炭素社会の実現に むけた環境対策の推進

◆ 省エネ家電製品購入補助 (地球温暖化対策費) ≪18,000千円≫

補助事業を拡大し、より多くの世帯での省エネ家電の普及や省エネ意識の向上を図ります。



■ 電力リバーソオークションの活用 新

公共施設では、電力リバーソオークションを活用し、コストを抑えながら再エネ電力の調達を進めます。

■ ZEB建築物内覧会と 勉強会の開催 新

「菊川市のZEB化推進等に向けた連携協定」に基づき、ZEB化普及啓発のため、省エネルギー性能に優れた建築物の内覧会及び勉強会を開催します。



◆ 脱炭素投資促進事業補助金 新 (産業振興推進費) ≪750千円≫

金融機関と連携し、排出量算定ツールの普及や、「脱炭素投資促進事業補助金」の創設を通じて、市内企業の脱炭素化への取組を支援します。



【基本方針2:持続可能(未来)】 持続可能な産業モデルで未来を創るまち

<4> 脱炭素社会の実現に むけた環境対策の推進

廃棄物の減量対策

■ 菊川市一般廃棄物処理基本計画 の中間見直し 新

中間見直しの中で、新たに食品ロス削減にむけた具体的な目標と取組を明記します。

■ 製品プラスチック分別回収 の検討

令和8年4月から開始する製品プラスチック分別回収については、引き続き準備を進めます。



循環型社会の構築

■ 廃棄物の地産地消 新

バイオガス発電の過程で生じる熱やCO2を利用して育ったトマトを給食として還元します。

◆ バイオ肥料実証事業負担金 新 (環境美化推進費) ≪220千円≫

バイオガス発電の発酵残渣を肥料として市内に還元し、循環型社会の構築を進めます。



【基本方針3:生き生き(元気)】 誰もが健康で生き生き元気に輝けるまち

<1> 健康づくり事業と 介護予防事業の推進

◆ 健康増進事業費 《4,179千円》

市民の皆さまのさらなる健康増進に向け、みどり豊かな自然を活かし、新たなウォーキングコースを設定します。

高血圧予防対策強化のため、
推定野菜摂取量測定のほか、
新たに減塩相談会を実施します。

「茶ちゃっと！出張健康チェック」は、地域や企業などに出向き、引き続き市民の皆さまの近くで健康を支えています。



■ 予防接種費(健康づくり課) (带状疱疹予防接種委託料) (带状疱疹予防接種費助成金)

高齢者带状疱疹ワクチンの定期接種化に合わせ、定期接種対象者以外の50歳以上の人にも市独自で助成制度を設け、接種費用の一部を助成します。

新

新

新



《8,172千円》

《1,068千円》

【基本方針3:生き生き(元気)】 誰もが健康で生き生き元気に輝けるまち

<1> 健康づくり事業と 介護予防事業の推進



◆ 介護予防事業費（介護保険特別会計） 《110,306千円》

フレイル予防や認知症予防を取り入れた「健やか体操教室」を開催します。

医療機関や民間事業者と連携して、「いきいきサロン」や地域の通いの場への介護予防に関する指導を実施します。

介護予防を地域で支える人を養成する「いきいき応援隊養成講座」に取り組みます。

介護予防への意識を高めるため、市内3地区で、ゴムバンドなどを使用した体操教室を実施します。

バランスの良い食事や適度な運動、地域活動への参加などを更に促進し、健康寿命延伸に向けた取組を進めます。



【基本方針3:生き生き(元気)】 誰もが健康で生き生き元気に輝けるまち

<2> 地域医療提供体制の確保

◆ 病院費 ※病院事業会計 (一般会計繰出金) ≪1,048,402千円≫

持続可能な地域医療提供体制の確保のため、適正な人材確保と配置が重要です。菊川病院では、看護補助者不足への対応のため、外国人看護補助者を雇用し、看護体制の強化を進めます。

家庭医療センターあかっちクリニック



中東遠2次医療圏の慢性的な医師不足の解消にむけて、圏域内の自治体との連携により静岡家庭医養成協議会を立ち上げ、地域に根差す医師の育成に取り組んでいます。

超高齢社会において、菊川市独自の地域包括ケアシステムの一翼を担う家庭医の招聘を進め、医師定着を推進していきます。

【基本方針3: 生き生き(元気)】 誰もが健康で生き生き元気に輝けるまち

<3> 支えあい、助けあいによる 地域支援体制の実現

■ 市及び支援機関による 包括的な支援体制の構築

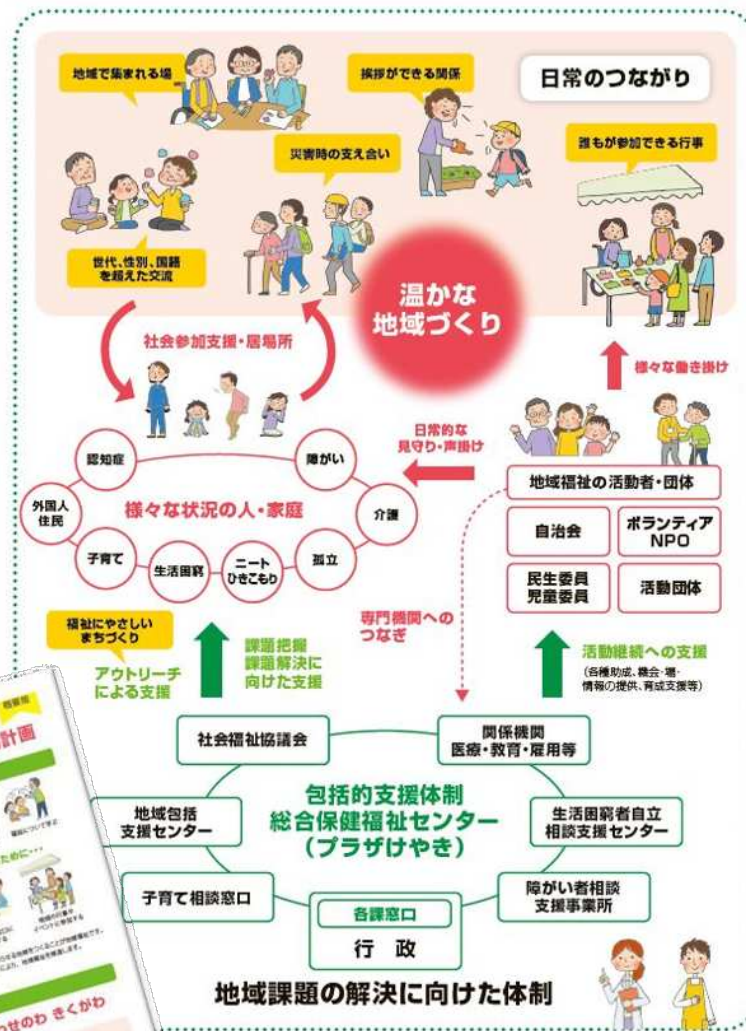
複雑化・多様化する地域の抱える課題に対し、分野を超えた包括的な支援を行うため、関係する部署及び支援機関による包括的な支援体制を構築し、地域の支援ニーズに創意工夫をもって円滑に対応できる仕組みづくりに取り組みます。

■ 第5次菊川市地域福祉計画・地域福祉活動計画 策定に向けた準備

誰もが安心して暮らせる地域づくりを確実に推進するため、地域福祉の推進の基本となる「第4次菊川市地域福祉計画・地域福祉活動計画」の進捗管理に取り組み、次期計画の策定に向け、準備を進めます。



理想とする菊川市の姿



【基本方針4:笑顔】 笑顔を育む希望と安心があふれるまち

<1> 結婚・出産の希望を叶える 体制の整備

◆ ふじのくに出会いサポートセンター会員登録料補助金 (出会い・結婚サポート事業費) ≪156千円≫

県と市町が運営する結婚支援「ふじのくに出会いサポートセンター」の会員登録料を補助することで、出会いを支援し、結婚に繋げていきます。



◆ きくすく妊活サポート事業 (母子保健医療費) ≪10,600千円≫

 **Point**



不妊治療を希望する人が経済的理由で治療をあきらめることがないよう支援体制整備が必要です。
安心して治療に専念していただくため、不妊治療費助成事業について、補助率及び助成上限額の拡大、助成回数の上限を撤廃することで、全国トップレベルの妊活サポートを展開します。

【基本方針4:笑顔】 笑顔を育む希望と安心があふれるまち

<2> 切れ目のない 子育て支援の充実

- ◆ 児童館運営費 《24,693千円》
小笠児童館管理費 《1,238千円》
子育て支援センター運営費 《14,570千円》

児童館及び子育て支援センターの開館日を増やします。菊川、小笠両児童館などの同時休館日を原則なくすことで、機能・役割を充実させ、子育てサービスの向上を図ります。

■ こども家庭センターの運営

「こども家庭センター」は、妊娠前から妊娠・出産・子育ての様々な相談に応じ、一人ひとりに寄り添ったきめ細やかな支援を行うことで、相談件数は大幅に増加しています。

令和7年度は、さまざまな問題を抱えた家庭の養育環境を改善するために、新たな支援先の開拓、包括的な支援体制の拡充を進めます。



【基本方針4:笑顔】 笑顔を育む希望と安心があふれるまち

<2> 切れ目のない 子育て支援の充実

◆ 給食運営費 ≪374,310千円≫

物価高騰に対する支援策として、小中学校などの給食費の増額分を減免し、民間保育施設の給食費も同等額の支援を行い、保護者負担の軽減を図ります。

◆ 幼保施設整備事業費 Point ≪103,938千円≫

老朽化した小笠北幼稚園に代わり、市内唯一の公立園として、小笠北認定こども園「きたっこ」が令和7年4月に開園します。

既存の小笠北幼稚園園舎の解体工事、園庭・駐車場の整備工事を実施し、地域子育て拠点及び幼保施設の拠点園として環境整備を進めます。

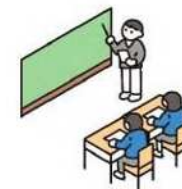


【基本方針4:笑顔】 笑顔を育む希望と安心があふれるまち

<3> 未来にむけた 子どもの学びの充実

◆ 小中一貫・連携教育推進費 《9,103千円》

近年の出生数の状況から市内小中学校の児童・生徒数の減少が予想されることから、「学校の未来を考える会」の委員に地域の代表者などを加え、教育方法や子どもたちに望ましい教育環境を実現するための考え方をまとめ、令和8年度からの地域との協議に向けた準備を進めます。



小中一貫教育「学びの庭」構想では、市立小中学校へのコミュニティ・スクールの導入により、学校と地域がパートナーシップのもと一体となって特色ある学校づくりを進めてきましたが、新たに、小学校へ地域コーディネーターを配置し、地域と学校がより密接なつながりを持ち、学舎の目指す子ども像の実現に向けた取組を進めます。



【基本方針4:笑顔】 笑顔を育む希望と安心があふれるまち

<3> 未来にむけた 子どもの学びの充実

- ◆ 外国人児童指導費 ≪32,951千円≫
外国人生徒指導費 ≪10,186千円≫

新たに外国人相談員を1人増員し、外国人児童生徒の学習支援体制の拡充を図ります。

- ◆ 保健体育総務費 ≪5,409千円≫
(今後の部活動の在り方検討)

子どもの多種多様な体験活動や学校以外の地域の居場所づくりの実現を目指し、段階的に休日の地域展開を開始します。

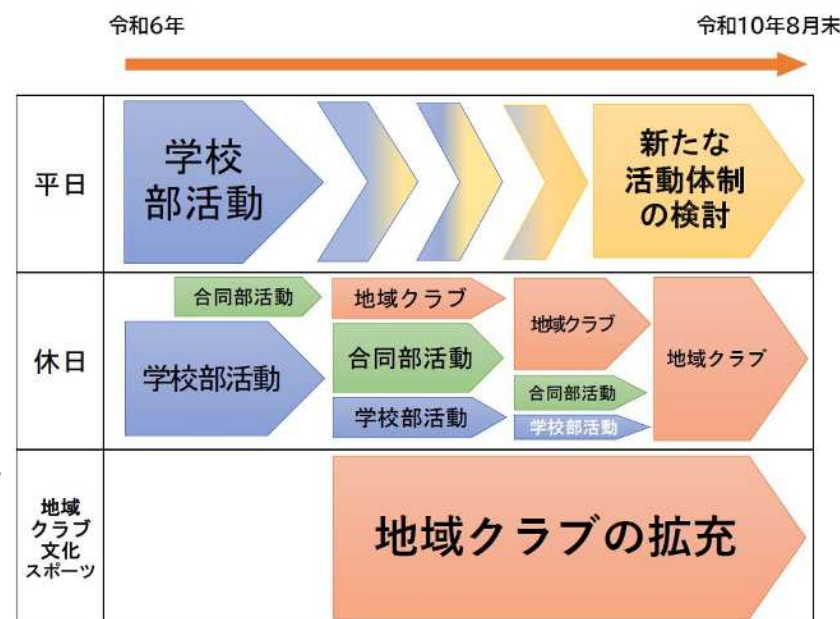
令和7年度は、個人種目について、地域クラブと部活動顧問とで連携する専門部会を開催し、地域連携を進めます。

団体種目は、3中学校の合同部活動の設置を進め、新たに部活動指導員を配置し、地域展開への準備を進めます。

休日の部活動の地域展開は、令和10年8月末に全ての種目の完了を目指して進めます。



部活動の地域展開スケジュール



【基本方針5:夢】 可能性を引き出す夢あふれるまち

<1> 菊川駅南北自由通路整備と 駅北地域の魅力創出

◆ 駅南北自由通路整備事業費

《2,265,229千円》

(R6繰越明許含む)

菊川駅南北自由通路の整備は、令和8年3月末開通を目指し、多くの皆さまに愛される駅となるよう引き続き事業を進めていきます。

南北の均衡ある発展を図り、まち全体の魅力向上、人口減少の抑制につなげ、持続可能なまちづくりを引っ張る原動力となるよう取り組みます。



南北自由通路のイメージ



南北自由通路及び新駅舎外観
南側からのイメージ



【基本方針5:夢】可能性を引き出す夢あふれるまち

<1> 菊川駅南北自由通路整備と 駅北地域の魅力創出

◆ 駅北整備事業費 Point 《16,392千円》

駅から徒歩圏内である利便性を活かし、地区の効率的な土地利用を図ることで、生活環境の向上、安心・安全・快適なまちづくりの実現を目指します。



▼ 菊川駅北側からの風景



南北自由通路及び新駅舎外観 北側からのイメージ



駅周辺の都市機能の充実や商業・住居エリアの整備により見込まれる税の増収分は、市内全域のインフラ整備や子育て・教育・福祉の充実など、市民の皆さまの生活の質の向上につながるものとなります。

具体的な検討や法手続きに向けた準備は、「駅北まちづくり研究会」を軸に進めていきます。

駅周辺の魅力向上にむけ、協働による賑わい創出の仕組みづくりを進め、菊川市に人と賑わいがあふれるわくわく夢が広がるまちとなるよう取り組んでいきます。

【基本方針5:夢】 可能性を引き出す夢あふれるまち

<2> 多様な主体による 協働の推進

◆ 協働のまちづくり推進費 ≪6,664千円≫

多くの人の「アイデア」や「やりたい」「やってみたい」の実現にむけた相談・支援体制を整えていきます。

令和7年度は、こども・若者からの声を聞く仕組みとして、県と連携したオンラインプラットフォームを活用していきます。

こども・若者の活動を支援する体制を整えるため、地域おこし協力隊制度を活用したユースワーカー人材を新たに確保します。

こども・若者自らが楽しく活躍できるまちへ、主体的な活動を応援していきます。

新

新



【基本方針5:夢】可能性を引き出す夢あふれるまち

<3> 交流人口・定住人口の拡大

◆ 移住・定住・交流推進事業費 菊川市魅力発信事業費

《4,799千円》

《8,044千円》

新

新たに地域おこし協力隊制度を活用した情報発信人材を確保し、菊川市の認知度向上や情報発信の強化に取り組みます。

中京圏と首都圏の中間にある菊川市の立地を活かし、新たに名古屋で開催される移住フェアに出展します。



「移住体験ツアー」を開催し、温暖な気候に恵まれ、交通の利便性に優れたコンパクトな“ちょうど良いまち”という菊川の魅力を体験してもらうなど、菊川市への移住を促進します。

移住促進
パンフレット



菊川市の
魅力体験
ツアー

【基本方針6:共感】 新たな発想と共感により実効性を高めるまち

新しいことに常に挑戦し続ける市へ

「最小の経費で、最大の効果」を心がけた適切な予算編成
県・国の補助金を最大限に取り込む
新たな発想と共感による財源確保に努めます。

■ トップセールス営業・知恵を絞った取組

自ら積極的に取り組んできたトップセールスをさらに加速
させるとともに、職員一丸となり知恵を出し合って取り組
んでいきます。

■ 関心や共感を高める取組

市の施策や事業などに対する関心や共感を高めるため、
タイムリーで分かりやすい情報発信を行います。

市として実施したい事業や課題解決にむけた取り組みに
共感した人たちから、ガバメントクラウドファンディングや
企業版ふるさと納税制度により、寄附を募る取組も積極
的にチャレンジしていきます。



(株)南山堂様



【基本方針6:共感】 新たな発想と共感により実効性を高めるまち

新しいことに常に挑戦し続ける市へ

■ ふるさと納税の倍増

菊川市ならではの魅力的な新たな返礼品の開発により納税額の倍増に取り組んでいきます。

菊川の魅力がギュッと詰まった返礼品！



■ 駅北地域の開発・世帯増

駅北地域の開発では、良質な住宅用地などの開発や人口増による税収確保を目指し、駅北地域のまちづくり計画を推進していきます。



市民や事業者と行政の「絆」を創る

行政運営の方針

1. **経営感覚**を大事にする
2. 大切な“**税**”を無駄にしない
3. **前例踏襲** や市役所の **常識**にとらわれない
4. **巧遅** より **拙速**（60点でよい ともかく進める）
5. **行政資源**（ヒト・モノ・情報等）を活かす

困難に屈せず、夢を追い続け、未来へ
一つ一つの挑戦を積み重ね、成長する

「さらに前へ!住みたいまち菊川市!!」

